PRESS RELEASE

富士通テン株式会社　〒652-8510　神戸市兵庫区御所通1-2-28
Tel:(078)671-5081(代表) Fax:(078)671-5325　http://www.fujitsu-ten.co.jp
FUJITSU TEN LIMITED 2-28,Gosho-dori 1-Chome,Hyogo-ku,Kobe 652-8510,JAPAN

2012年5月16日

小学生の親子340組に聞く『ドライブでの親子コミュニケーションに関する調査』

“親の心 子知らず”は今や“子の心 親知らず”

4割以上の子供が親とのコミュニケーションに満足していない
半分以上の親が子供とのコミュニケーションに悩んでいる

普段不足しがちなコミュニケーションをしっかりとれるのが“車の中”だからこそイライラや退屈は厳禁！

7割以上の親子がドライブ後に「家族がさらに仲良くなった」と感じている
約9割の子供が“家族の会話が多く渋滞のイライラがない”車内を大事だと思う

富士通テン(株)(本社:兵庫県神戸市　代表取締役社長:重松 崇)では、全国の小学生の子供を持つ30～40代の男女170名ずつ340名と、その子供340名を対象に、「ドライブでの親子コミュニケーションに関する調査」を、2012年4月に実施いたしました。

調査結果については次ページ以降をご参照ください。

『ドライブでの親子コミュニケーションに関する調査』結果サマリー

①家族のコミュニケーションについて

- 40.3%の子供が親と「まあまあ遊んだり会話をしている」(4段階中3番目の回答)と答えており、普段の親とのコミュニケーションに十分には満足していない様子が伺える
- 「子供とどうコミュニケーションをとったら良いか分からないと思ったことが」、「ある」親は7.1%、「時々ある」親は44.7%(計51.8%)と、半数以上が子供とのコミュニケーションに悩んでいる
- 親が思う「子供への理解度」は子供が期待するものよりも低く、“子供への理解に自信がない親”という姿が浮かび上がっている。特に父親が顕著

②ドライブ中の車内コミュニケーションについて

- 「家族全員で会話がはずむ場所」は、リビングなど(60.3%)、食卓など(57.9%)に次いで、家の外でもっとも高いのが「車の中」(32.6%)
- ドライブを通じて家族がさらに仲良くなったと思う親は73.5%、子供は70.9%　(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計)
- 「渋滞でもイライラ感のない車内」を大事と思う親は94.1%、子供は95.6%。「(子供が)退屈をしない車内」を大事と思う親は93.8%、子供は98.5%。(「大事」「どちらかといえば大事」の計)
- 実際は、子供の70.0%が「長距離ドライブが退屈」、83.8%が「渋滞時、することがなくてひま」と感じている

本調査結果に関する報道関係者のお問い合わせ先
富士通テン株式会社　コーポレートコミュニケーション室　広報担当　角野、佐柄　TEL. 078-682-2170
株式会社サニーサイドアップ　富士通テン「ECLIPSE(イクリプス)」PR担当　照井、福田　TEL. 03-6894-3200

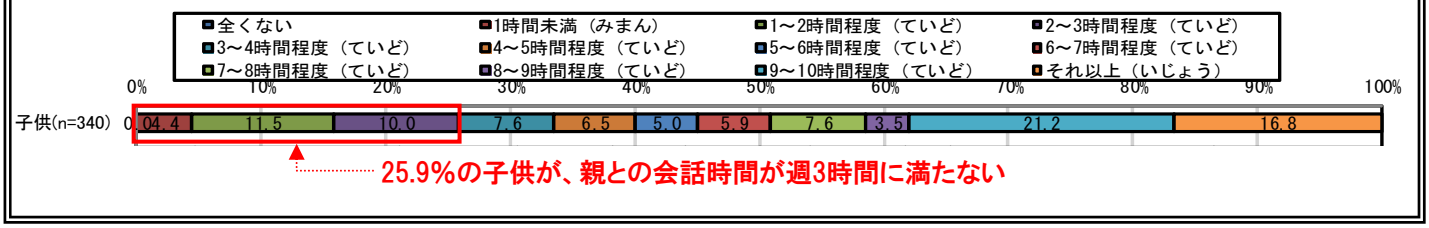
① 家族のコミュニケーションについて

調査の結果から、家庭内での親子のコミュニケーション量は二極化の傾向が見られ、理想と現実にギャップがあることが分かりました。また、子供は親とのコミュニケーションに満足していない実情が、親は子供とのコミュニケーションに悩みを抱えている実情が浮き彫りになってきました。

約4分の1の家庭で親子の会話時間が週3時間に満たない結果に

子供が1週間に「お父さんやお母さんと会話する時間」は、「9～11時間程度」(21.2%)がもっとも多く、「それ以上」も16.8%いました。いっぽう、「1～2時間程度」(11.5%)、「2～3時間程度」(10.0%)と答えた子供も多く、「1時間未満」(4.4%)と合わせると実に4分の1(25.9%)の家庭で、1週間の会話時間が3時間に満たない結果になりました。家庭により親子のコミュニケーション時間は二極化の傾向があるようです。親への質問でも同様の傾向が見られました。

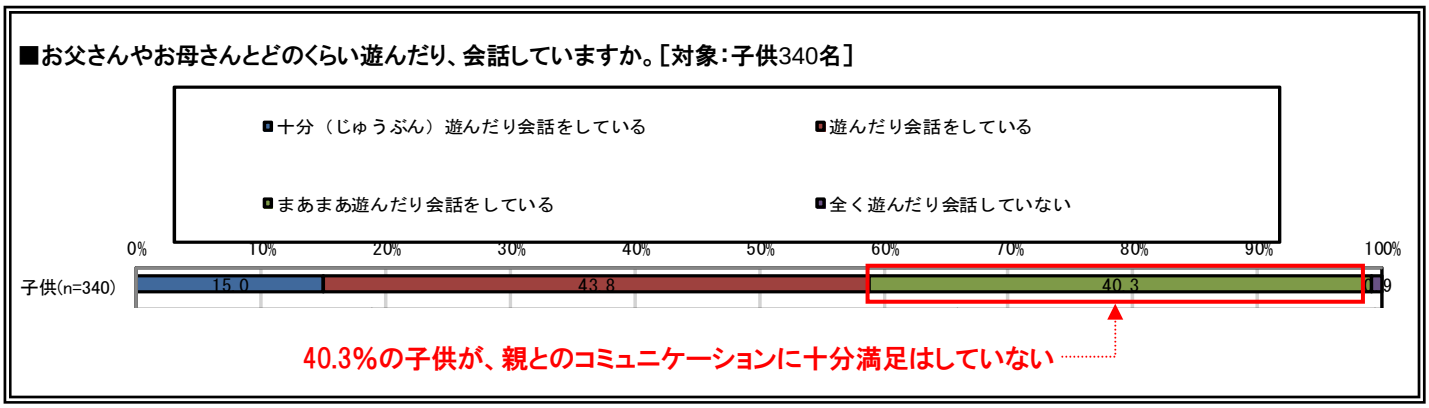
■お父さんやお母さんと会話をする時間は、平均週何時間ですか。[対象:子供340名]



4割以上の子供が親とのコミュニケーションに満足していない

子供に「お父さんやお母さんとどのくらい遊んだり、会話していますか」と聞いたところ、約4割が「遊んだり会話している」(4段階中2番目)と回答したものの、約4割が「まあまあ遊んだり会話をしている」(同3番目)と答えており、親とのコミュニケーションに満足していない様子が伺えます。

■お父さんやお母さんとどのくらい遊んだり、会話していますか。[対象:子供340名]



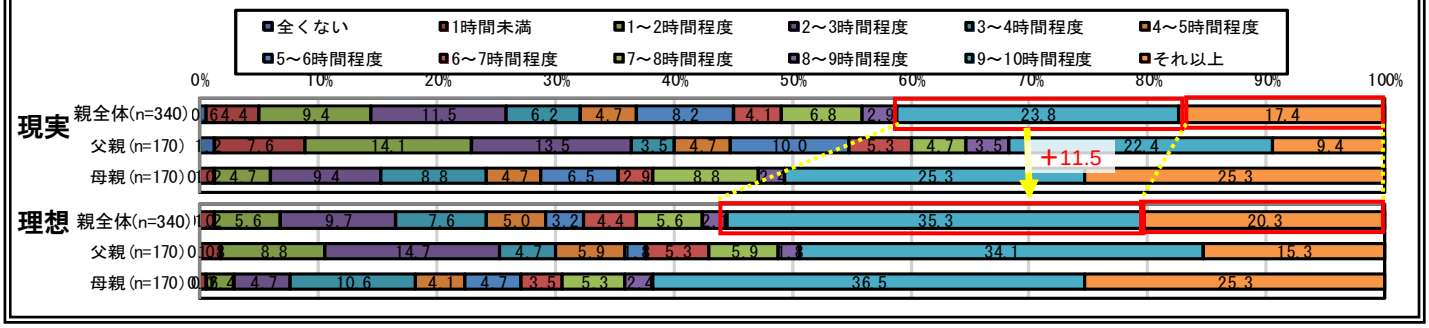
① 家族のコミュニケーションについて

子供とのコミュニケーションをとる時間に理想と現実のギャップ

親に子供とのコミュニケーションをとる時間の現実と理想を聞いたところ、1週間で「9～10時間程度」が現実では23.8%のところ、理想では35.3%と大幅に増加し、「それ以上」も同じく17.4%から20.3%に増加しています。親子のコミュニケーション量についても「まあまあ足りている」(57.9%)、「少し不足している」(24.4%)という回答が多く、不足しているわけではないものの、十分ではないと感じているようです。

■(上)お子さまとのコミュニケーションをとる時間は、平均週何時間ですか。[対象:親340名]

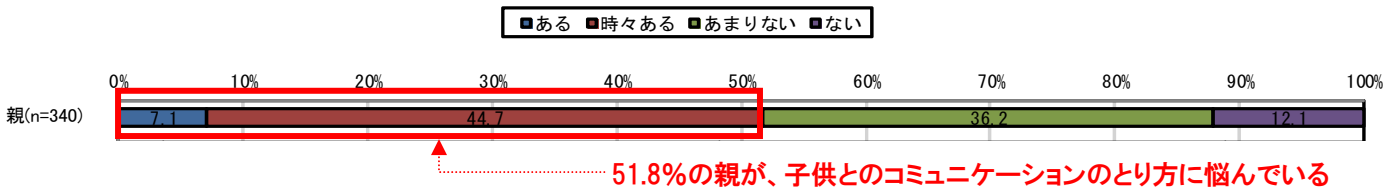
■(下)お子さまとのコミュニケーションをとる理想の時間は、平均週何時間ですか。[対象:親340名]



親の5割以上が子供とどうやってコミュニケーションをとったら良いか悩んでいる

親に「子供とどうコミュニケーションをとったら良いか分からないと思うことがある」か聞いたところ、「ある」が7.1%、「時々ある」が44.7%、計51.8%と半数以上の親が子供とのコミュニケーションのとり方に悩んでいるという実情が伺える結果となりました。

■お子さまとどうコミュニケーションをとったら良いか分からないと思うことはありますか。[対象:親340名]



子供への理解度に自信のない親

子供と親の両方に、子供の「食べ物の好き嫌い」など6つの項目について、理解していると思うか尋ねたところ、子供が親に「理解してもらっている」と思っているよりも、親が子供を「理解している」と自信を持って言えない実情が浮かび上がってきました。その傾向は特に父親が顕著でした。

■お父さんやお母さんは以下のこう目について、どれだけ理解していると思いますか。[対象:子供340名]／「理解している」の割合

■お子さまについて、下記のそれぞれの項目をどの程度理解していると思いますか。[対象:親340名]／「理解している」の割合

	子供	親(子供との差)	父親(子供との差)
食べ物の好き嫌い	71.8%	67.6% (-4.2)	54.1% (-17.7)
友達関係	42.9%	34.4% (-8.5)	25.9% (-17.0)
将来の夢	32.6%	31.2% (-1.4)	22.9% (-9.7)
好きなアニメやキャラクター	54.1%	52.9% (-1.2)	44.7% (-9.4)
好きな遊びや趣味	50.3%	48.5% (-1.8)	39.4% (-10.9)
身長・体重	60.9%	57.1% (-3.8)	41.8% (-19.1)

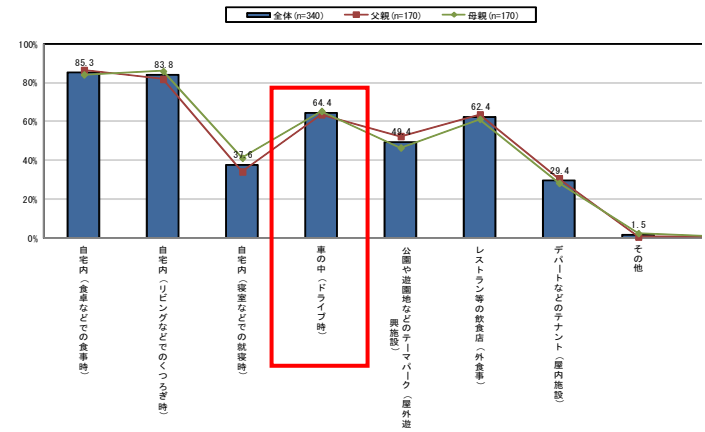
② ドライブ中の車内コミュニケーションについて

ドライブは家族のコミュニケーションに有効…しかしながら親子のギャップも存在。
親も子も“家族がそろい会話もはずむ”ドライブで家族が仲良くなると感じており、
渋滞中もイライラのない明るい車内を望んでいることが分かりました。
一方、遠出したい親と近場のドライブを好む子供の好みのギャップも判明。
せっかくのコミュニケーションの場も、長距離ドライブや渋滞に子供は退屈しがち。

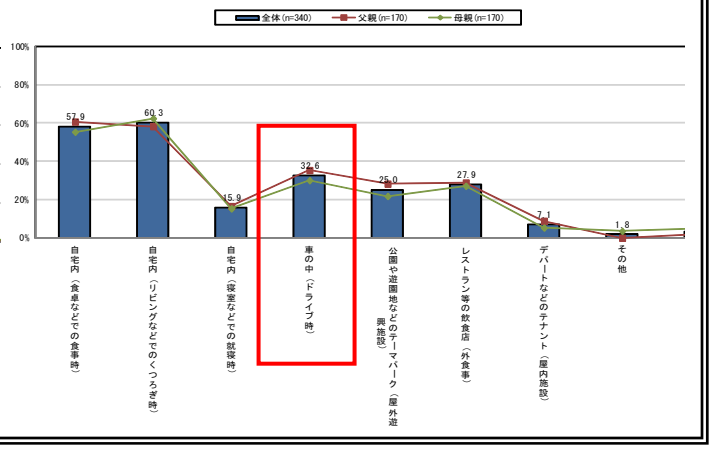
家族がよくそろい、会話がはずむ場所、家の外では「車の中」が一番

親に、「家族全員がよくそろう場所」はどこか聞いたところ、「自宅内（食卓などでの食事時）」（85.3%）、「自宅内（リビングなどでのくつろぎ時）」（83.8%）に次いで、「車の中（ドライブ時）」（64.4%）が挙がりました。「家族全員で会話がはずむ」ところでも、「自宅内（リビングなどでのくつろぎ時）」（60.3%）、「自宅内（食卓などでの食事時）」（57.9%）に次いで、「車の中（ドライブ時）」（32.6%）が挙がりました。家族がそろってコミュニケーションをとれる場としては、家の外では「車の中」が一番という結果が出ました。

■家族全員がよくそろう場所はどこですか。[対象：親340名]



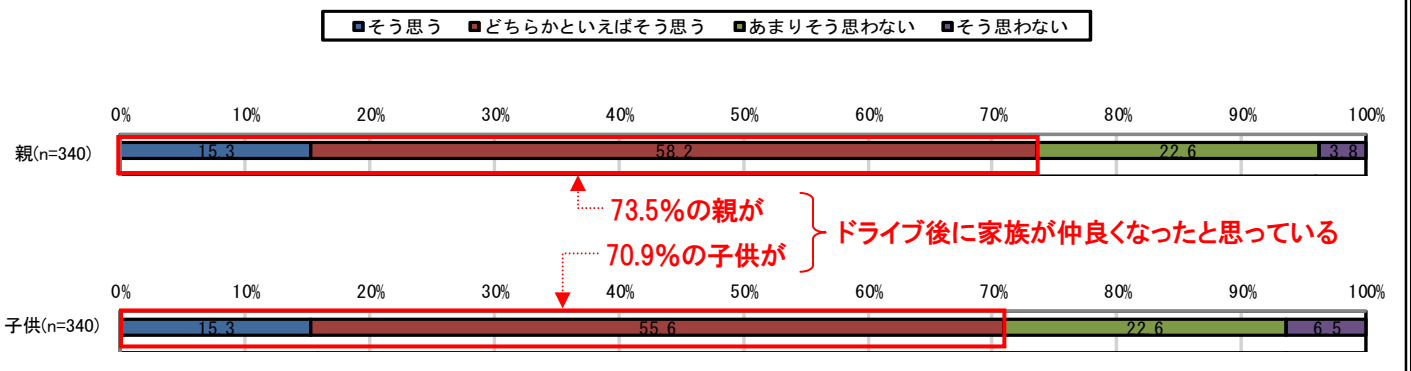
■家族全員で会話がはずむのはどこですか。[対象：親340名]



7割以上の親子がドライブで家族がさらに仲良くなったと感じている

「家族でドライブに行った後、家族がさらに仲良くなった」と思う親は73.5%（「そう思う」15.3%、「どちらかといえばそう思う」58.2%）、子供は70.9%（「そう思う」15.3%、「どちらかといえばそう思う」55.6%）で、親も子も7割以上がドライブで家族の絆が深まったと感じているという結果が出ました。

■家族でドライブに行った後、家族がさらに仲良くなったと思いますか。（上）[対象：親340名]／（下）[対象：子供340名]



② ドライブ中の車内コミュニケーションについて

理想は「退屈をしない」「渋滞でもイライラ感のない」「家族で会話をすることが多い」車内

親と子それぞれに、ドライブ中の車内で大事なことを尋ねました。親が大事(「大事」と「どちらかといえば大事」)と思うのは、「渋滞でもイライラ感のない車内」(94.1%)、「子供が退屈をしない車内」(93.8%)、、「家族で会話をすることが多い車内」(81.4%)という結果が出ました。

子供が大事と思うのは、「退屈をしない車内」(98.5%)、「渋滞でもイライラ感のない車内」(95.6%)、「家族で会話をすることが多い車内」(88.8%)でした。また、「音楽が楽しめる車内」が86.7%、「映像を大画面で見られる車内」83.2%も大事という割合が親に比べてかなり高く、子供にとって車内のエンターテインメント性も重要なことが分かりました。

■観光や旅行の時のドライブ中の車内について、それぞれどのくらい大事だと思いますか。[対象:親340名]

	合計	大事	どちらかといえば大事
渋滞でもイライラ感のない車内	**94.1%**	42.9%	51.2%
子供が退屈をしない車内	**93.8%**	33.5%	60.3%
家族で会話をすることが多い車内	**81.4%**	23.8%	57.6%
音響設備が整っている車内	**55.3%**	14.1%	41.2%
映像を大画面で見られる車内	**50.9%**	20.0%	30.9%

■観光や旅行の時のドライブ中の車内について、それぞれどのくらい大事だと思いますか。[対象:子供340名]

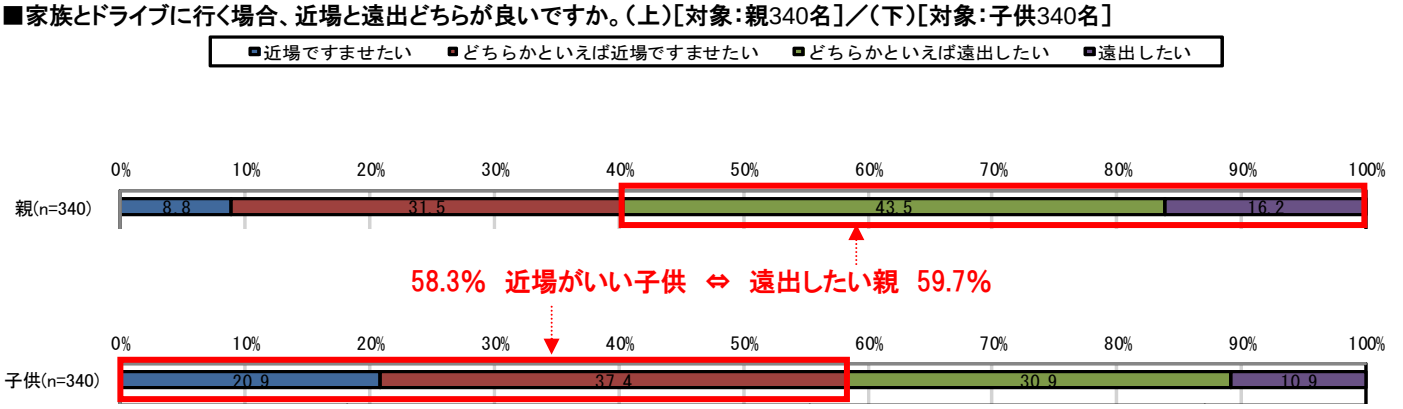
	合計	大事	どちらかといえば大事
退屈をしない車内	**98.5%**	58.8%	39.7%
渋滞でもイライラ感のない車内	**95.6%**	39.1%	56.5%
家族で会話をすることが多い車内	**88.8%**	28.8%	60.0%
音楽が楽しめる車内	**86.7%**	43.2%	43.5%
映像を大画面で見られる車内	**83.2%**	49.1%	34.1%

親子のドライブ嗜好にギャップ。遠出をしたい親(約6割) ⇔ 近場がいい子供(約6割)

親にも「家族でドライブに行く場合、近場と遠出どちらが良いか」尋ねたところ、遠出をしたい親は59.7%(「遠出したい」16.2%、「どちらかといえば遠出したい」43.5%)で、近場ですませたい親の40.3%(「近場ですませたい」8.8%、「どちらかといえば近場ですませたい」31.5%)を上回りました。同じように、子供に「家族とドライブに行く場合、近いところと遠いところ、どちらが良いか」尋ねたところ、近い方が良い子供は58.3% (「近いところ」20.9%、「どちらかといえば近いところ」37.4%)で、遠い方が良い子供の41.8%(「遠いところ」10.9%、「どちらかといえば遠いところ」30.9%)を上回りました。

遠出を好む親と、近場のドライブを好む子供との嗜好の違いが浮き彫りになりました。

■家族とドライブに行く場合、近場と遠出どちらが良いですか。(上)[対象:親340名]/(下)[対象:子供340名]



② ドライブ中の車内コミュニケーションについて

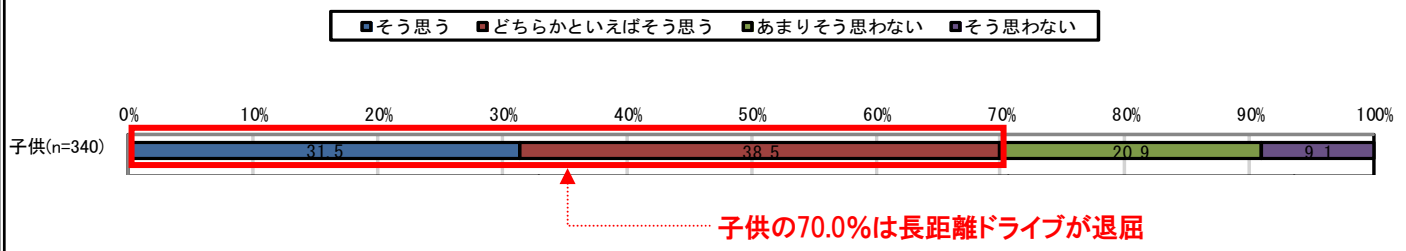
子供の7割が長距離ドライブに退屈、8割以上が渋滞ですることがなく退屈
せっかくのコミュニケーションの場を活かしきれていない現実が浮き彫りに

子供に「長きょりドライブ(1時間以上)中の車内について」尋ねたところ、70.0%が「長きょりドライブはたいくつ」だと回答しました(「そう思う」31.5%、「どちらかといえばそう思う」38.5%)。

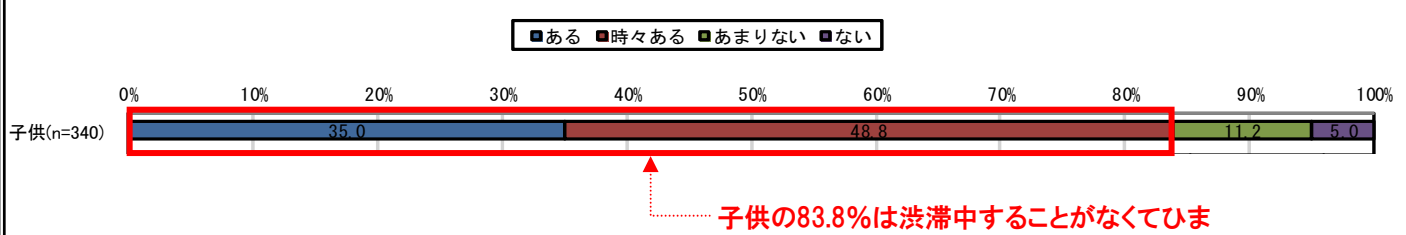
また、「渋滞(じゅうたい)時、することがなくなってひまだと思うことはありますか」という問いには、83.8%が「ある」と回答しました(「ある」35.0%、「時々ある」48.8%)

子供の大半が、親の好む長距離ドライブや渋滞では退屈と感じているのが実態で、理想である(前ページ参照)「子供が退屈しない車内」にはもう少しうまく車内での家族コミュニケーションを活用する必要があることが分かりました。

■長きょりドライブ(1時間いじょう)中の車内について、あてはまるものをお答えください。ー長きょりドライブはたいくつだ[対象:子供340名]



■以下のこう目について、それぞれあてはまるものをお答えください。
-渋滞(じゅうたい)時、することがなくなってひまだと思うことはありますか [対象:子供340名]



調査のまとめ

しっかりとコミュニケーションとれているようで、実は現実と理想にギャップがある家族
子供は親とのコミュニケーションに満足しておらず、
親は子供とのコミュニケーションに悩みを抱えています。

家の外で家族の会話がはずむ場所・家族が仲良くなれる場所が車の中(ドライブ中)
渋滞のイライラがなく、子供の退屈を解消できるような車内を実現することで、
家族のコミュニケーションがもっと活発になると考えられます。

【調査概要】

■調査テーマ:	ドライブでの親子コミュニケーションに関する調査
■調査実施期間:	2012年4月13日(金)-4月22日(日)
■調査回答者	①30-40代の男女(170名ずつ)　②左記回答者に付随する子供(340名) 【男女の選定条件】 ・既婚者(離婚／死別なし)　・小学生の子供持ち ・自家用車あり　・自家用車にナビあり
■総回答数	男性170サンプル／女性170サンプル／子供340サンプル
■調査方法	インターネット調査

富士通テン「ECLIPSE」カーナビ新商品情報

【2012年夏モデル】

市販初！「クルマでDS(*)」対応、移動時間が大切な家族との楽しいコミュニケーションの場にかわる

「AVN-ZX02i」／「AVN-Z02i」 オープン価格

「AVN-ZX02i」

■「クルマでDS」対応　市販初！

ニンテンドーDS®ソフト「クルマでDS」に対応。ニンテンドーDSとカーナビをつなげば、カーナビの地図や位置情報と連携し、DSで目的地を設定できたり、観光案内やご当地クイズなどを楽しめ、退屈な移動時間が大切な家族との楽しいコミュニケーションの場にかわります。

「クルマでDS」は「AVN-ZX02i」「AVN-Z02i」に付属されています。

・渋滞だって楽しくなる

子どもから大人まで年齢性別を問わず楽しめます。長距離移動や退屈な渋滞の時間も、これさえあればみんなが笑顔で楽しめます。

(*)ニンテンドーDS、ディーエス／DSは任天堂の登録商標または商標です。©2012 Nintendo

※本商品の詳細は富士通テン㈱のプレスリリースをご参照ください。

http://www.fujitsu-ten.co.jp/release/2012/05/20120516_01.html

観光案内

ナビリモコン

「クルマでDS」観光案内とナビリモコンのイメージ